

氏名 Name	発表 Presentation
Ada Taggar-Cohen	1)Annual Meeting of the National Association of Professors of Hebrew (NAPH) June 25, 2020; Boston University USA – “Rhetoric and Style in Biblical and Hittite išḫiul-Texts”
	2)Annual Meeting of the Society of Biblical Literature, San Diego November 25, 2019 –Ritual and Royal Wisdom in Hittite Texts
	3)Public lecture December 8 2020 – CISMOR Doshisha University, –Why is the Hittite Cultural Heritage Important for Understanding the Hebrew Bible? (with Japanese translation) なぜヒッタイトの文化的遺産がヘブライ語聖書の理解に重要なのか？
小原克博	研究発表「自然と人工物の境界に関する宗教倫理的考察——憑依する人工知能」、日本宗教学会 第78回学術大会、パネル「人工知能の社会実装化が提議する宗教的問題」、帝京科学大学 千住キャンパス、2019年9月
	講演「良心学とは何か——良心の学際的研究」、行動経済学会 第13回大会 特別セッション「行動経済学と良心」、名古屋商科大学ビジネススクール 名古屋キャンパス丸の内タワー、2019年11月
	講演「少子高齢化社会における人工知能・ロボットの役割を考える——日本文化を踏まえて」、京都弁護士会 第24回「法律援助を広げる市民のつどい」、京都弁護士会館 地下大ホール、2020年1月
大澤 香	大澤香、「ヘブライ語聖書における捕囚と穢れのメタファー」、若手研究者による古代中近東研究会「古代中近東における国際交流」、同志社大学、2019年12月8日
塩尻 和子	塩尻和子「イスラーム文明・・・近代文明の礎」日本チュニジア協会、在日チュニジア大使館、2020年5月8日
	塩尻和子「イスラーム文明とは何か」松山大学公開講演会、10月25日
	塩尻和子「宗教とテロ・・・イスラーム理解の重要性」国連大学グローバル・セミナー、第35回湘南セッション、8月27日
中田考	中田考「イスラーム世界を見る視線の交錯——日本とフランスの対話・応答」『国際シンポジウム：イスラーム世界を見る視線の交錯——日本とフランスの対話』東京大学東アジア藝文書院 2019年10月31日
廣瀬 陽子	Yoko HIROSE, “Russian Hybrid Warfare: Focusing on Its Change in Characteristics and Effects for the Former USSR” presented at 18th Aleksanteri Conference “TECHNOLOGY, CULTURE, AND SOCIETY IN THE EURASIAN SPACE”(Panel 6C: Digital Spaces for Conflict) on 25 October 2019 at University of Helsinki, Finland (in English).
山本 孟	Hajime Yamamoto “The Hittite Concept of Defilement and Expansion of Territories,” Conference on International Cultural Diversity in the Ancient Near East, Doshisha University, 14/4/2019.
	山本 孟「ヒッタイト王の神々に対する敬意の表し方」『日本オリエント学会第61回大会』明治大学、2019年10月13日
	山本 孟「ヒッタイト王国の世界観と国土の東西への広がり」『第49回古代エジプト研究会』近畿大学、2019年12月8日。

北村 徹	北村徹、“Tradition and Transformation in the Book of Ezekiel: Exile and Priestly Tradition”、国際会議「古代近東の国際社会における多様な文化」、同志社大学至誠館会議室、2019年4月13-14日。
	Tetsu KITAMURA, “The Difference in the Meaning of ‘Zion’ between Ezekiel and Isaiah,” The 19th Assyriological Workshop, Foso-kan room 105, September 20, 2019.
	北村徹、「捕囚における希望の所在－第二イザヤとエゼキエルにおけるシオンに注目して」、CISMOR ワークショップ 第1回「シオン／エルサレム／聖地」観の再検討：聖書テキストから今日に至るまで」、同志社大学至誠館会議室、2019年12月21日。
藤原 佐和子	Sawako Fujiwara, “Be Awake to Reconcile: Retracing the Steps of Our Sisters,” Asian Ecumenical Women’s Assembly (Christian Conference of Asia), Presbyterian Bible College, Hsinchu, Taiwan, November 23, 2019.
	藤原佐和子「世界教会協議会(WCC)における女性の参加とエンパワーメント」、日本基督教会、於青山学院大学、2019年9月19日。
	藤原佐和子「アジアの女性キリスト者たちと環境正義(eco-justice)－エキュメニカル運動の視点から－」、日本宣教会、於上智大学、2019年6月29日。
加藤 哲平	加藤哲平・『律法実践の小論(4QMMT)』の党派性について／日本基督教会第67回学術大会・青山学院大学／2019年9月10日
	加藤哲平・聖書の校訂記号：オリゲネス、エピファニオス、ヒエロニムス、アウグスティヌス／コロキウム・パトリスティクム・京都大学／2019年11月16日
	加藤哲平・ヒエロニムスの聖地巡礼について／CISMORワークショップ「シオン／エルサレム／聖地」観の再検討：聖書テキストから今日に至るまで・同志社大学／2019年12月21日
大澤 耕史	大澤耕史(コメント)「ヨセフは誰に売られたか」？をタルグムから考える／京都ユダヤ思想学会第12回学術大会シンポジウム「タルグムの世界—聖書翻訳とユダヤの伝統—」於同志社大学烏丸キャンパス／2019年6月29日
	大澤耕史「古代世界のユダヤ教の境界意識——「異教徒」「背教者」を中心に」／日本ユダヤ学会第16回学術大会於学習院女子大学／2019年10月26日
森 若葉	森 若葉「ウム アル・アカリブ(ギシャ[“ウンマ”])出土レキシカルリストについて」 第62回シュメール研究会(京都大学)2019年6月9日

発表者名・発表タイトル名／発表を行った学会や研究会名・開催場所／開催日
 presenter・title/conference name・venue/Date